

花き日記 第5回 菊花展（岡山県）

菊薫る秋、菊花展

秋になると日本各地で菊花展が開催されています。その起こりは江戸時代とも言われ、長い歴史を持つ菊花展も多数存在します。愛好家の皆様が丹精込めて1年間育て上げた芸術的な菊の競演は圧巻です。

今回は、岡山県内で11月に開催された菊花展をご紹介します。



走り弁がある作品（岡山県後楽園菊花大会）

日本の伝統を継ぐ花文化の一つ

第68回岡山県後楽園菊花大会
(令和7年10月19日～11月9日)第74回おかやま菊花大会
(令和7年10月28日～11月12日)第39回備前長船菊花展
(令和7年10月22日～11月20日)

今年も各地で色鮮やかな菊の花が各地の名勝を華やかに彩り、観光資源として国内外の来場客を楽しませています。

岡山後楽園で開催される「岡山県後楽園菊花大会」は、今年で68回目を迎え、岡山県内の菊愛好家が丹精込めて育てた菊作品が一堂に会しました。岡山城の麓、鳥城公園で開催される「おかやま菊花大会」は1952年から毎年開催される伝統ある菊花大会であり、今年も丹念な手入れと洗練された技術で仕立てた作品が出品されました。岡山県瀬戸内市で開催される「備前長船菊花展」は、地域講座受講生から愛好家まで幅広い層の出品作品を楽しめる菊花展として、地域に根差しています。菊花展は様々な楽しみ方がありますが、花き係個人的なおすすめポイントをご紹介します。

個人的おすすめポイント

①部門があれば見ておきたい！「総合花壇」

「総合花壇」は、菊の総合芸術です。菊で表現される芸術的空間にご注目。



総合花壇（岡山県後楽園菊花大会）

②“走ってる”“花卉に注目！

「走り弁」といわれる、ドーム型に盛り上がった花の下側にヒュッと伸びている美しい花びらに注目です。

③やっぱり花形、「大菊花壇」

12鉢や6鉢等（おかやま菊花大会では16鉢！）均整の取れた複数の鉢で1作品が構成されています。会場に入るとよく目立つ位置に配置されていることが多い部門です。



大菊花壇（備前長船菊花展）